



令和7年8月9日(土)

学校教育目標 **なかよく がまん強く たのしく**

第11号 文責：校長 真崎 哲也

諫早市立長田小学校
859-0312
諫早市西里町800番地

電話

23-9010(職員室)
24-8267(校長室)
23-9059(FAX)

電子メール

e-nagata@isahaya-
snet.ed.jp

Web サイト

<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-nagata/>



ホームページには、毎日の
子どもの様子や学校からのお
知らせ、各種便り等を掲載し
ています。ぜひ活用ください。



恐いのは、「無関心」であること～平和集会から

立秋を迎え、暦の上では秋の到来ですが、酷暑はまだまだ続きそうです。保護者、地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。ここ数週間、局地的な豪雨が全国各地で発生しています。一昨日、諫早市でも朝から断続的に強い雨が降り、長田川の水量も一気に増し、濁流になっていました。

本日9日は登校日でした。ほとんどの子ども達が登校し、元気な姿を見ることができました。ここまで事故や怪我の報告はあっていません。家庭や地域でのご指導や見守りのおかげであると感謝しております。夏休みも半分が過ぎました。全国的に水の事故が多発しています。改めて子ども達には水際の恐さを伝えました。保護者の皆様には「まだ20日」、子ども達には、「たった20日」の残りの夏休みを安全で、有意義な休みとなりますようよろしくお願いいたします。

7月23日からの保護者面談は、ご多用な中ご都合をつけていただきありがとうございました。 短い時間ではありましたがお子様や学校のことについて、意見交換ができましたことは大変意義深いことでした。ここで話し合い、確認したことを2学期以降の学習や生活に生かし、学校やお子様のよりよい改善となるよう努めてまいります。お互いを理解し、信頼に繋げていくには、やはり直接お会いして話すことだと思います。面談や懇談会に限らず、気になることや心配事等は遠慮なく、学校を

訪ねてご相談ください。校長室も随時「子育て相談室」として開放しています。

さて、本日の平和集会には保護者の皆様にも20名くらい参加をいただき、子ども達の平和劇の発表や平和宣言、歌などをご覧いただきました。子ども達へ「知ること」の大切さを以下のように伝えました。ご家庭でも今日はぜひ、戦争や平和を話題としていただき、ご家族の皆様からお話をお願いいたします。

～今日8月9日は、長崎市に原子爆弾が落とされて、日本で戦争が終わって80年が経ちました。たった一発の爆弾によって7万4千人もの方が一瞬で亡くなりました。今の諫早市の人口の半分以上にあたります。先ほど話した水の事故のように、まさか自分が死ぬなんて…きつとそう思いながら、無念の気持ちをいっぱいに亡くなっていかれたのだと思います。

今でも世界では戦争が起こっている事をみなさんは知っていますよね。この前、テレビを見ていたら、戦争で町が壊され、家も壊され、住む所もなく、道に座り込んでいる女の方がおられました。右手にコップを持たれていました。その女の人は横にあった茶色の水たまりから泥水を汲んで、ごくごくと飲まれました。水道なんてありません。井戸もありません。食べ物もありません。生きていくためにはこの水を飲むしかないんです。左手には赤ちゃんを抱かれていました。この後どうやって生きていかれるのでしょうか。戦争はこれほどまでも人を苦しめるのかと校長先生は強い怒りが込みあげてきました。

「**ペンは剣よりも強し**」という言葉があります。どんな意味だと思いますか。これは言葉や文章が武器や戦力よりも大きな力や影響力を持っているということです。もっと分かりやすく言えば、**争いごとを解決するのは「暴力」ではなく、言葉で伝え合い、分かり合う事**だといっているのです。つまり、世の中を平和にするためには、一人ひとりがしっかりと勉強をして、**まず知ることが大切**なんです。なぜ戦争が起こったのか、戦争が起こるとどうなってしまうのか、戦争のことをもっともっと調べて、知ってください。そして自分の考えをもってください。**恐いのは、戦争ではなく、知ろうとしないこと、無関心でいることが一番怖いことなのです。** いじめも無関心で起こるのです。

さらに、勉強して学んだことを発信していくのです。伝えていくのです。全員が平和大使になって、戦争は愚かなこと、核兵器を使うのは愚かなこと、みんなが幸せになることが一番尊いことであることを伝えていってください。それが生きている私たちの責任です。

今日長崎原爆の日に、平和な世界を作るには、みんながしっかりと学習し、知ることが大切であることをお話しました。～



